

平成 30 年度 佐潟再生事業の進捗状況について

1 概要

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、富栄養化している佐潟の水質改善を図るため、様々な方法を検討し、人の手を加えながら佐潟の再生を目指す。

2 平成 30 年度事業内容と進捗状況

(1) 佐潟再生事業調査

- 調査は NPO 法人新潟水辺の会に委託
- 調査は 5 月～7 月にかけて実施し、舟を運航し、魚群探知機を使用して水深を測定した。また底泥量に関しては、50m 間隔で長竿を入れて堆積厚を測定した。
- 7 月 24 日に開催した佐潟現地視察で、経過を報告。調査結果は別紙 1 を参照
- 今後、平成 26 年度に浚渫事業を実施した際に測定した湖底の底泥量の資料と比較する予定

(2) 地域適応コンソーシアム事業（環境省事業）

- 事業内容やスケジュールは別紙 2 の通り
- 今年度は、佐潟に関する資料を収集・整理したうえで、水の動きを解析する水循環モデルを構築する。
- また 31 年度にかけて、水循環モデルを踏まえ、気候変動の影響を予測すること、及び佐潟の水質・水生生物への影響を検討する。
- 4 月に事業の委託業者（環境省選定）と打合せを実施。これまで本市が佐潟で実施した各種調査結果の資料を提供した。
- 6 月 26 日にさいたま市で開催した地域適応コンソーシアム事業関東地域協議会に出席し、本事業の概要説明を行った。

(3) 水門ドロばきの活用

- 冬期に地元と調整しながらできるだけ回数を増やして開門し、効果を検証する予定